

## はじめに

私たちの中学校の下に埋まっていた、郡山遺跡。考えてみればすぐ身近だったのに、何年か前までは名前さえ知らなかった。そんな郡山遺跡に、私は少しずつ興味がわいてきた。どんな遺跡なのか。そしてその郡山遺跡にどんな文化が刻み込まれているのか。学校とどのような関係があるのか。それを調べたくて、私は郡山遺跡を研究テーマにしました。

### 1 郡山遺跡とは何か

遺跡とは、昔その土地で多くの民衆が暮らしていた跡ということができる。日本の各地にあり、どの遺跡にも様々な歴史が刻み込まれている。色々な科学技術が進歩した今、遺跡から多くのことが分かるようになった。では、郡山遺跡はどのような遺跡だったのだろうか。私たちの質問に応じてくれた N 先生さんは、このように説明してくれた。

『郡山遺跡は、昔の役所とお寺の遺跡で、調査では今のところ東北の中で一番最初にできた役所とお寺といわれています。』

役所とお寺。では昔の役所はどのような仕事をしていたのだろうか。

### 2 昔の役所での仕事

昔の役所での仕事は、今の役所の仕事のみならず、いろいろなことをしていました。まず、米の管理です。昔は米がお金同様のものだったので、ちゃんと納める量が決まっていました。役所に納められた米はすべて、役所で働く人たちが管理していました。

次に、今で言う自衛隊もすべて役所で働いていたそうです。

では、役所で働いていた人たちはどのような服装をしていたのでしょうか。

### 3 郡山遺跡「衣食住」

郡山遺跡で昔の方たちが着ていた衣服は実は、何年もの間に分解され、土に返ってしまうそうです。

それで長島さんの話では、今のようにバッチのようなものを身に付けて位を表したのではないかとされているそうです。そして、普通の人には白い浴衣のすその短いものに、男の人はズボン、女の人はスカートのようなものを着ていたそうです。それに比べて、貴族の人々は、色鮮やかな着物というより浴衣のようなものに、様々な髪飾りのようなものを着ていました。

次に、どのようなものを食べていたのでしょうか。基本的には今とあまり変わりないようです。ただ、米はお金と同じものだったのでひえやあわなどの雑穀を食べていたそうです。そして一見牛や馬などを食べていないように見えるのですが、1300 年前ごろに法律で牛や馬や鳥などを殺して食べてはいけないというものが出ていたことから、それ以前は牛や馬や鳥やサルを殺して食べていたことが推測されます。そして魚介類は、カツオやタイ、サメやウニなどに意外にグルメだったそうです。

そして住んでいたところは竪穴式住居だったそうです。でも、中国から仏教が伝わったときに、中国のまねをして、そのころから家のつくりが変わってきたと言われています。

### 4 発掘された土器について

郡山中学校のちょうど校庭に当たるところから、井戸が発見されました。中をほって調査すると、大量の土器がでてきたそうです。そして、長年土の中に埋まっていたにもかかわらず、発掘の最中に水が流れてきたそうです。そこで発掘さ

れた土器には、いろんな種類がありました。まず、焦げ目が付着している土器や、でんぷん質のかたまりが付着していた土器は、火で物を煮たり焼いたりしたときに使われた土器だといわれています。そのほかにも大きいものは水がめなど、完全な形があるものは 1200 個も発掘されたそうです。しかも、土器にも昔高級品があったそうです。土などで作られたものと違い、鉄などでできている土器を須恵器といいます。この須恵器は約 600 個発掘されたそうです。

### 5 事務所での仕事について

最後に、事務所での主なしごとについて教えてもらいました。

郡山遺跡発掘調査事務所では、遺跡発掘のほかに、遺跡の記録や絵を描いたり、気の遠くなるような細かい部分まで地図を写したり、今の地図と発掘調査用の地図を照合したり、資料の本文を考えたりなど、いろいろな方がたのしそに働いていました。

### おわりに

今回の校外学習が郡山遺跡に当たり、意外と調べがいのあるものでした。

自分たちの身近にある歴史を調べることにより、自分たちの地域により深くかわることができ、楽しく活動できました。これからも歴史についてもっと深く調べたいです。

### 出典

仙台市文化財パンフレット第 18 集  
甕の城柵「郡山遺跡」